

テーマ5 計画を確実に進めていくための人づくり

施策の柱5.1 本計画推進のための庁内における環境意識の向上と人材育成

目標17

庁内における環境意識の向上を図るために、茅ヶ崎市独自環境マネジメントシステムの周知啓発を徹底するとともに、生物多様性や地球温暖化問題に関する庁内での学習の機会を積極的に提供します。また、研修への参加、先進的取り組みを行っている自治体等への視察を積極的に実施します。
【目標担当課：環境政策課・景観みどり課】

■目標17の進捗状況

●茅ヶ崎市独自環境マネジメントシステム(C-EMS(※))の周知啓発

項目	実施時期	内容
課長級職員研修	4月	地球温暖化対策における自治体の役割、特に注意すべき環境法令(講師:(株)知識経営研究所)
新採用職員研修	11月	茅ヶ崎市の環境、C-EMSの説明(講師:環境政策課職員)
外部監査	11月中旬～12月下旬	文書監査・訪問監査及び前回外部監査結果への対応等に対する総合的な評価(報告書は市ホームページ、イントラネット(※)で公表)
課内研修	随時	環境活動目標設定研修・新任異動者レク(適宜)・法令遵守を確認する会(4半期に1回)、環境リスク対応研修(年に1回以上)
C-EMSレターの発行	不定期	外部監査実施結果、各年度の取組結果、夏・冬の節電対策等を全庁的に伝達し情報共有

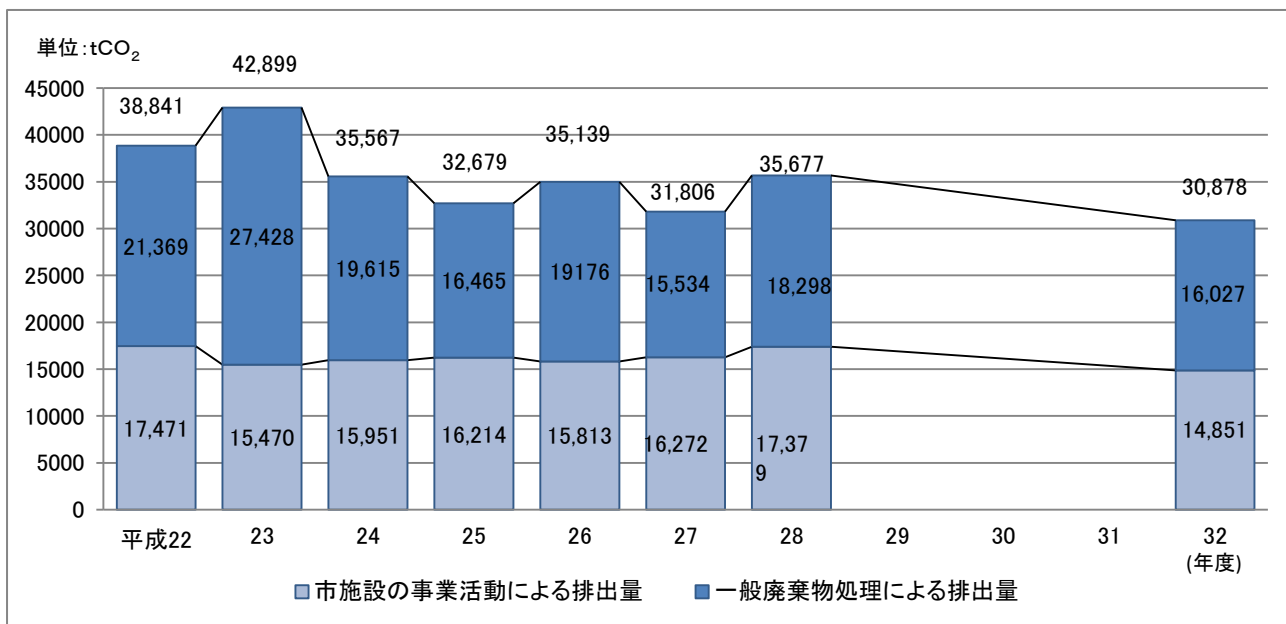
●生物多様性や地球温暖化問題に関する庁内での学習機会

項目	内容
自然環境(生物多様性)	・都市部への異動者等を対象にした研修を実施しました。 ・庁内イントラネットにより全職員がいつでも資料を閲覧可能な状態にしています。 ・市民・職員を対象とした研修会を実施しました。
地球温暖化	・茅ヶ崎市独自環境マネジメントシステム(C-EMS)の周知啓発と併せて実施しました。

●外部研修への参加(平成23年度から29年度までに受講のもの)

主催	主な研修内容	参加職員の所属課
環境省環境調査研修所	環境教育、地球温暖化対策、廃棄物・リサイクル、土壌汚染、水質汚濁等	環境政策課、環境保全課、資源循環課
神奈川県	水質システム、大気水質、アスベスト対策、水質汚濁防止法、水道、特定外来生物対策、みどり行政、景観行政、生物多様性等	環境保全課、景観みどり課
神奈川県環境科学センター	県・市町村環境学習担当者研修	環境政策課、環境保全課
(公財)かながわトラストみどり財団	湘南グリーンコネクション	景観みどり課
神奈川県森林協会 ほか	森林・林業行政に係わる担当職員研修会	
公益財団法人 地球環境戦略研究機関 国際生態学センター	連続講座「みどりを守り育む知恵・技術・心得」 連続講座「みどりの環境を守り育む力をみがく」	環境政策課

(参考) 茅ヶ崎市行政の温室効果ガス排出量



C-EMSレター番外編 茅ヶ崎エコ管理賞表彰式

C-EMSレター 番外編 (指定管理者向け) 2017. 6月

番外編 C-EMS レター

平成28年度
発行元: C-EMS事務局 (環境局)

茅ヶ崎エコ管理賞の表彰式が行われました

『ふれあい活動ホームあかしあ』

の「あかしあクリーン隊」の活動が表彰されました。

「あかしあクリーン隊」は、施設の利用者が日中活動している施設地域から歩道の清掃まで、散歩しながら歩道のゴミ拾い活動です。この活動には、①施設利用者のごみの分別意識の醸成、②地域全体の美化意識の向上、③利用者の健康増進や地域理解の深まりの3つの効果があり、人にも環境にも優しい取り組みです。

表彰式では、「歩道には、缶やペットボトル、お菓子の袋、タバコの吸い殻などがたくさん落ちていたが、拾って歩道が綺麗になり良かった」と、「あかしあクリーン隊」の活動に取り組み中での思いや感想を伺うことが出来ました。環境に優しいだけでなく、沢山の効果が現れた取り組みですね。

ふれあい活動ホームあかしあ皆さん、本当にありがとうございました。今後もこの活動を続けてください!

C-EMSレター 番外編 (指定管理者向け) 2017. 6月

「茅ヶ崎エコ管理賞」に応募しよう!

はじめに・・・
エコ管理賞は、市の施設を管理する指定管理者が取り組む優秀な環境配慮活動を表彰し、その取り組みをPRすることで、環境配慮活動の広がりを目指すことを目的として平成26年度から始まりました。

「茅ヶ崎エコ管理賞」応募方法Q&A

どうやって応募するのよ?

1 月頃の募集時に「茅ヶ崎エコ管理賞」応募方法Q&Aを参考にしてください。

どんな取り組みが応募できるのよ?

2014年1月1日に開始する取り組みが応募できるのよ。そして環境局に届く書類が揃った取り組みが表彰されるのよ。

早速応募したいけど、応募方法がわからないのよ?

※応募で必要な取り組み (応募対象)

- (1) 職員・利用者の環境配慮活動による効果的な取り組み
- (2) 設備の運用管理による効果的な取り組み
- (3) 地域貢献等による効果的な取り組み

表彰されると、市員から表彰状と記念品が贈られるのよ。

本賞の意義

- ・ 施設への波及効果。
- ・ エネルギー使用量や資源等の削減効果。
- ・ 事業活動の効率性の向上効果。
- ・ 経費の削減効果。
- ・ 活動の継続性や独自性が認められる。
- ・ その他特筆すべき効果が認められる。

茅ヶ崎市エコ管理賞の周知のために、指定管理者向けにC-EMSレターの番外編を発行しました。(平成29年6月発行)

重点施策32 庁内の環境意識の向上

33 庁内における人材育成

■概要

- ・茅ヶ崎市独自の環境マネジメントシステム(C-EMS)に基づき、庁内のさらなる環境意識の向上を図るとともに、環境配慮行動の率先的役割を果たします。
- ・環境に関する情報を行政内の全ての部署で共有します。
- ・生物多様性について積極的に学習の機会を設け、職員への周知を図ります。
- ・知識や技術を習得するための研修、先進自治体への視察等の実施を支援し、環境に関する専門的知識を有する職員を育成します。
- ・階層別職員研修のさらなる充実を図り、庁内横断的な施策をマネジメントできる能力を持った職員を育成します。

■平成29年度の取り組み

①C-EMSに基づく庁内の環境意識向上と環境配慮行動の実践

事業名	実施内容	担当課
C-EMS課内研修、新採用職員研修、マネージャー研修	・C-EMSマネージャー研修は、マネージャーだけでなく、C-EMS事務担当者や、施設所管課においては施設の維持管理事務担当者まで対象を拡げ、環境法令遵守に関することや、C-EMS計画書を作成する際の注意事項などについての研修を実施し、137名が出席しました。 ・後期新採用職員研修において、新採用職員28名を対象として、C-EMSについて説明を行いました。 ・施設所管課かいのマネージャーや担当者を対象として、茅ヶ崎市のエネルギー使用状況や、ESCOやEMSを活用した施設の省エネの手法等についての勉強会を実施し、98名が出席しました。	環境政策課
C-EMS外部監査	・平成29年度は、27年度から実施している担当者ヒアリングの対象課かい数を更に増やして外部監査を行い、事務局及び各課、小中学校の取り組みについて総合的な評価を行いました。 ・外部監査の結果については、法令遵守に関することで一部指摘事項があったものの、C-EMSがおおむね適切かつ効果的に運用されていると評価されました。 *詳細は市ホームページで公表しています。	
C-EMSレターの発行	・平成29年度は、通常のC-EMSレターとは別に、指定管理者を対象として実施しているエコ管理賞表彰式の様子や過去の受賞事例等を紹介するC-EMSレター特別号を作成し、指定管理者が管理している施設を所管している課かいへ送付しました。	
表彰制度「茅ヶ崎市エコオフィス賞」、「茅ヶ崎市エコ管理賞」の実施	・市の組織を対象にした「茅ヶ崎市エコオフィス賞」は、安全対策課の「ESCO事業による防犯灯のLED化」を、市の施設を管理する指定管理者を対象とした「茅ヶ崎市エコ管理賞」では、茅ヶ崎地区コミュニティセンターの「光熱費削減活動」を、それぞれ環境負荷の低減や、業務効率化、経費の節減等の効果が認められ、他の組織の模範となる環境配慮活動であるとして表彰しました。 - この取り組みによる温室効果ガスの削減効果は、「ESCO事業による防犯灯のLED化」が年間約440t-CO₂(約61%削減)、「光熱費削減活動」が年間1,280kg-CO₂(約4%削減)となります。 - この内容は他の組織等へ取り組みを波及させるため、ホームページ等で公表を行いました。	

②自然環境、生物多様性についての職員への周知

事業名	実施内容	担当課
「茅ヶ崎市みどりの基本計画」に係るヒアリング及び周知	・「茅ヶ崎市みどりの基本計画」改定に併せて、施策担当へのヒアリングを行い、自然環境の保全や生物多様性への配慮について、庁内周知を行いました。	景観みどり課
都市部局への異動職員への研修	・都市部へ異動職員に対して、茅ヶ崎の自然環境、生物多様性への配慮に関する研修を実施しました。	
環境部局への異動職員への研修	・6月に、環境部へ異動職員に対して、市内の重要な自然環境の視察等や、生物多様性への配慮に関する研修を行いました。	環境政策課

事業名	実施内容	担当課
庁内イントラネットや通知による周知	・コア地域及びその周辺において、土地利用など自然環境が改変される可能性がある場合の情報提供を呼びかけました。	景観みどり課
自然環境庁内会議の定期開催	・月1回の定例会を実施し、課題解決に向けた議論と情報交換を行いました。 (テーマ: 茅ヶ崎市みどりの基本計画の見直し、土地利用相談の情報共有等) ・公共工事に関する情報共有をよりの確に行うよう、自然環境庁内会議設置要綱を改正し、専門委員を位置づけました。	
生物多様性に係る研修	・平成30年2月5日に、市と茅ヶ崎地区相模川をきれいにする協議会の共催で実施した環境保全セミナーにおいて、河川・海域の環境保全をテーマに、生物多様性に関する講演会を開催しました(参加者数: 会員・一般30人、市職員34人)。	環境政策課 環境保全課

③知識や技術を習得するための研修の支援、環境に関する専門的知識を有する職員の育成

事業名	実施内容	担当課
各種研修会への職員派遣	・環境省や神奈川県、その他外部機関が主催する各種研修に参加しました。 ・平成29年6月15・16日、9月8日及び30年1月31日に(公社)日本騒音制御工学会が開催した「騒音・技術講習会」に職員1名を派遣し、騒音・振動技術の基礎と測定実習など専門的技術を習得させました。 ・平成29年度に移譲を受けた自動車リサイクル法の許可等、リサイクル、災害廃棄物など業務に必要な知識の習得のため、研修会へ職員を派遣しました。研修終了後は研修会の内容について、課内の職員に周知し情報共有を図りました。 ・平成29年10月2日～6日、市町村職員中央研修所主催「環境問題に関する政策法務」へ職員を派遣しました。	環境政策課 環境保全課 資源循環課 職員課
職員研修報告会の実施	・平成29年10月24日、研修派遣等とおして学び、習得した様々な先進事例や専門的知識を、職員間で情報共有し、職員の意識や知識の向上を図ることを目的とする職員研修報告会を実施しました。	職員課

④階層別職員研修の充実、マネジメント能力の醸成

事業名	実施内容	担当課
新採用職員研修	平成29年11月1日、「環境行政」について研修を実施しました。	職員課
担当主査級職員研修	平成29年5月1日、2日、「マネジメント研修」を実施しました。	
課長補佐級職員研修	平成29年11月9日、10日、「マネジメント研修」を実施しました。	
課長級職員研修	平成29年12月25日、26日、30年1月26日「目標によるマネジメント研修」を実施しました。	

■平成29年度予算執行状況

事業名	29年度予算額	29年度決算額	担当課
C-EMS研修	162千円	162千円	環境政策課
C-EMS外部監査	378千円	383千円	
C-EMS消耗品	18千円	14千円	
廃棄物行政担当者研修会	35千円	35千円	資源循環課
担当主査級職員研修	391千円	383千円	職員課
課長補佐級職員研修	391千円	383千円	
課長級職員研修	616千円	600千円	
合計	1,991千円	1,960千円	

■成果・課題と評価

成果	評価
・茅ヶ崎市環境マネジメントシステム(C-EMS)の外部監査では、C-EMSがおおむね適切かつ効果的に運用されていると評価され、研修や外部監査等による庁内周知が図られているものと考えられます。平成29年度に新たに実施した、ESCO事業者や資源エネルギー庁の職員を講師とした勉強会では、機器の入れ替え時におけるESCO活用の検討やEMSを活用した施設のエネルギー使用量分析等、公共施設のさらなる省エネルギー化に向けた具体的な手法等について学び、職員の環境意識の向上を図ることができました。 ・生物多様性に係る研修のアンケート結果では、回答者の9割以上が「生物多様性についての理解が深まった」と回答しており、生物多様性の大切さについて周知が図れたものと考えます。 ・外部研修の参加については、各担当課で積極的に行われています。	B A: 極めて順調に進んでいる B: おおむね順調に進んでいる C: ある程度進んでいる D: あまり進んでいない E: 積極的な取り組みが必要 -: 取り組みなし(評価不能)
課題	
・C-EMSの外部監査の中で、一部の施設において「フロン排出抑制法」に基づく点検や点検記録の保存が実施できていないという指摘を受けました。今後、事務局において実施する庁内研修の中で法令遵守についての周知を図ります。 ・職員が環境に関する知識を習得することができるよう、引き続き、研修会の活用等、取り組みを推進することが必要です。	

環境保全セミナーポスター



環境保全セミナー

演題 『河川・海域の環境保全について』 <神奈川県におけるレッドデータ生物調査の取り組み>

講師 神奈川県立生命の星・地球博物館 学芸部長 瀬能 宏 氏

日 時 平成30年2月5日(月) PM2時30分~PM4時30分

場 所 茅ヶ崎市役所 分庁舎6階 コミュニティホール

【問合せ】環境保全課 0467-82-1111

当日のようす



施策の柱5.2 市民・事業者の環境意識啓発・人材育成、活動の支援

目標18

市民の環境意識の向上を図り、環境に関する活動への参加者数等を増やします。

【目標担当課:環境政策課】

■目標18の進捗状況

●環境に関する主な事業への参加者数

項目	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
環境フェア来場者数(人)	約2,000	約2,000	約2,000	約1,600	約1,900	約3,000
里山はっけん隊！参加者数 (延べ人数)	71 (夏・冬)	56 (春・秋)	67 (春・夏・冬)	20 (秋)	49 (春・秋)	34 (夏・冬)
こどもエコクラブ登録クラブ数	5クラブ	5クラブ	3クラブ	10クラブ	3クラブ	2クラブ
環境市民講座参加者数(人)	76	104	189	145	147	58
農業・漁業体験プロジェクト 参加者数(延べ人数) *平成23・24年度は環境政策課、平成25年 度以降は農業水産課が実施	61	148	218	202	177	280
公民館・文化資料館等に おける環境に関する講座 参加者数(人)	1,609	1,464	1,959	3,172	2,929	2,330

(参考)家庭における省エネルギー・地球温暖化防止への取り組み

(省エネルギー・地球温暖化に関する意識調査集計結果)

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
意識している	93%	94%	81%	90%	90%	84%
意識していない	7%	6%	11%	10%	10%	7%
どちらともいえない			8%			4%

重点施策34 意識啓発・人材育成

■概要

- ・市内の環境に関する情報や、市民活動団体、事業者、市等による環境への取り組みに関する情報等を積極的に発信します。
- ・市民・事業者を対象とした環境に関する事業をより充実させ、参加者の増大を図ります。
- ・社会教育等の機会を捉えて環境に関する講座等を実施し、地域の中で知識や経験を広げていくことのできる人材の育成を図ります。
- ・環境意識啓発について、先進自治体の事例も参考にします。

■平成29年度の取り組み

①市民活動団体・事業者、市等の環境への取り組みに関する情報等の発信と充実

事業名	実施内容	担当課
広報紙、タウン紙、ホームページ等を活用した情報発信	・平成30年3月発行の「広報ちがさき みんなの環境基本計画特集号」において、市内の自然環境の情報や温室効果ガスの排出状況について周知するとともに、市民が取り組める身近な取り組みについて情報発信しました。 ・市ホームページに「参加してみよう！環境活動」のページを新設し、保全管理団体が実施する保全活動や講座についての周知を図りました。 ・平成29年6月にみどりの情報紙「ちがさき」を創刊し、自然環境や生物多様性の保全に関する様々な情報を提供しました。 ・景観みどり課Facebookページを開設し、茅ヶ崎の自然や風景などの情報提供を始めました。 ・環境フェアや講座等の開催にあたっては、広報紙、タウン紙、ホームページのほか、メール配信サービスやツイッター、デジタルサイネージ等、様々な媒体を用いた情報発信を行いました。	環境政策課 景観みどり課
ポータルサイト「ちがさきエコネット」の運用	・エコファミリーの更なる獲得を目指し、夏と冬の省エネコンテストを実施したほか、市広報紙やタウンニュース等への記事掲載、各種イベントでのチラシの配布、9月の環境フェアへの参加など、様々な手法を用いてエコネットの周知を図り、エコファミリー（家族会員）の参加世帯数は昨年度末157世帯から291世帯となりました。 ・平成29年度は、みどりのカーテン苗配付の受付をちがさきエコネット行方方法に変更し、多くの方にエコネットに参加していただくことができました。また、苗の配付をきっかけとして参加いただいた方には、苗の配布時に操作研修会を行ったほか、エコネット上でみどりのカーテン写真投稿キャンペーンや取組後アンケートの実施、夏の省エネコンテストの周知などを行い、みどりのカーテンの取り組みとエコネットの活用を連動させるイベントを実施しました。 ・平成30年3月に、エコ事業者が行っている省エネに関する取り組みを広く紹介するため、イオン茅ヶ崎中央店のイベントスペースにて、「エコ事業者による省エネ活動展」を開催しました。事業者によるパネル展示のほか、開催期間の初日にはイベントデーを開催し、イベントデーには150人の方に参加していただくことができました。	環境政策課
市主催あるいは市民活動団体・事業者との協働によるイベント等事業の実施と啓発	・平成29年9月23日に環境フェアを実施しました（出展・協力団体69団体、来場者約3,000人）。さらに10月10日から17日に、イオン茅ヶ崎中央店にて、神奈川県地球温暖化防止活動推進員及び日本大学学生との協働により「環境フェアふりかえり展」を実施しました。 ・市民活動団体「柳谷の自然に学ぶ会」、神奈川県公園協会との協働により「里山はっけん隊！」を実施し、自然環境の大切さについて意識啓発を図りました。 ・神奈川県地球温暖化防止活動推進員湘南グループと共催で「環境市民講座・くらしの中でできる地球温暖化対策を考えてみませんか」を開催しました。環境カウンセラー・県地球温暖化防止活動推進員による講義（IPCC第5次報告や環境省の「COOL CHOICE」の解説）の後、参加者全員でワークショップを行い、身近なくらしの中でできる省エネや節電について考えました。 ・「NPO法人ちがさき自然エネルギーネットワーク」と共催で「環境講演会・これからの太陽光発電を考える」を開催しました。講演の内容としては、オフグリッド・エヴァンジェリストの佐藤千佳氏と一般社団法人太陽光発電協会の亀田正明氏から「自家消費型の太陽光発電」というテーマで講演をしていただきました。	環境政策課

事業名	実施内容	担当課
人材育成への効果を把握するための内容を含めたアンケート等を実施	・みどりのカーテン実施世帯を対象として実施したアンケートでは、みどりのカーテンによる室温上昇の抑制を実感できたと回答した世帯が47%、温暖化対策への意識の変化があったと回答した世帯が84%となり、取り組んだ世帯の多くにとってみどりのカーテンが省エネに取り組むきっかけとなったことが伺えます。 ・平成30年2月5日に、市と「茅ヶ崎地区相模川をきれいにする協議会」の共催で実施した環境保全セミナーでの参加者アンケートでは、「セミナー受講前と比べ、生物多様性についての理解が深まりましたか」との設問に「そう思う」「どちらかというと思う」と答えた回答者が96%となり、生物多様性の大切さについて周知が図れたものと考えられます。	環境政策課
各公共施設における環境に関する講座の実施	・文化資料館では、夏休み子どもワークショップを開催し、小中学生を対象に自然史資料について、知り学ぶ機会を創出しました。 ・各公民館では、自然観察会や環境を意識した料理教室等、子どもから大人までを対象とした事業を各種実施し、環境について学ぶ機会を創出しました。(詳細は資料編83ページを参照ください。)	社会教育課
ちがさき丸ごとふるさと発見博物館事業	・5～8月、10月～12月に開講したちがさき丸ごと博物館講座(基礎編)で、茅ヶ崎の自然を学ぶ講座をカリキュラムに組み入れて実施しました。 ・企画展「松林丸ごとふるさと発見博物館」において、講座「松林公民館周辺の自然観察会」を実施しました。	

■平成29年度予算執行状況

事業名	29年度予算額	29年度決算額	担当課
広報ちがさき みんなの環境基本計画特集号発行(再掲)	856千円	635千円	環境政策課
ポータルサイト「ちがさきエコネット」運用管理	1,175千円	1,037千円	
ちがさき環境フェア(再掲)	1,061千円	1,008千円	
里山はっけん隊！等(再掲)	192千円	154千円	
環境講座等の開催(再掲)	170千円	0千円	
公民館・文化資料館における環境に関する講座の実施	630千円	80千円	社会教育課 各公民館等
合計	4,084千円	2,914千円	

■成果・課題と評価

成果	評価
・みどりの情報紙「ちが咲き」の創刊、Facebookでの情報発信の開始、市ホームページでの「参加してみよう！ 環境活動」ページの開設等、積極的な情報発信を行うことで、環境意識の向上に資することができました。 ・引き続き、市民活動団体等との協働により、環境フェア、里山はっけん隊！、環境に関する講座を開催し、多くの市民の参加を得ることができました。 ・社会教育においても、各公民館での学習機会の創出のほか、「ちがさき丸ごとふるさと発見博物館事業」における自然環境に関する講座の実施等、さまざまな機会を捉えた学習の場を創出できました。	B A:極めて順調に進んでいる B:おおむね順調に進んでいる C:ある程度進んでいる D:あまり進んでいない E:積極的な取り組みが必要 -:取り組みなし(評価不能)
課題 ・今後も情報発信の方法の改善に努めながら、啓発活動の内容、対象など、工夫しながら継続していく必要があります。	

重点施策35 現在活動している市民や市民活動団体、事業者による環境保全の取り組みの支援

■概要

- ・市民活動団体や事業者に対し効果的な支援を行います。
- ・広報紙やホームページ等を活用し、取り組みを市内外へPRする機会の提供や表彰制度等のインセンティブを設けることにより、活動の促進と市民への普及、自主的な参加拡大を図ります。

■平成29年度の取り組み

①市民活動団体や事業者に対する支援

事業名	実施内容	担当課
電気自動車購入補助事業(個人、事業者向け)(重点施策28の再掲)	・市民や事業者向けに電気自動車の普及促進を図るための補助を行いました(交付金額:1台につき30千円、交付件数:10台<当初受付可能件数:10件>)。	環境政策課
環境美化推進事業	・自治会等が実施する、海岸や公道、公園等の公共的な場所における清掃活動にあたり、ゴミ袋や軍手を配布しました(平成29年度参加人数:8,529人、ゴミ袋配布数:14,150袋(可燃)、4,951袋(不燃)、1,565袋(小さい袋)、軍手配布数:4,898双)。	環境保全課
環境美化に関する民間団体補助事業	・美化運動を自主的に実施している市内の団体に対し、美化意識啓発、花の植栽、美化清掃等の活動を対象として、補助金を交付しました(H29申請団体数:25団体)。	
資源回収推進地域補助金制度	・137の自治会等に対して、資源物収集量に応じた補助金を支出し、資源物の適正排出を推進しました。	資源循環課
緑化推進団体活動事業費補助金制度	・緑化活動を行う6団体を対象に各8千円の補助を行いました。	景観みどり課
「茅ヶ崎地区工場等緑化推進協議会」への支援	・24社で構成される「茅ヶ崎地区工場等緑化推進協議会」に対し16千円の負担金を支出しました。同団体は清水谷や平太夫新田での保全作業に参加しました。	
環境保全活動をしている市民活動団体への支援	・平成29年4月1日に施行した「茅ヶ崎市みどりの保全等に関する条例」に市民団体を支援する制度を位置づけました。 ・平成30年3月に自然環境保全ボランティア登録制度の運用を開始しました。 ・広報紙、市ホームページ「参加してみよう！環境活動」のページ、みどりの情報紙「ちが咲き」等にて、市民活動団体が実施する保全活動や講座の周知を図りました。	景観みどり課 環境政策課

②環境に関する取り組みを市内外へPRする機会の提供、活動の促進、市民への普及、自主的な参加拡大

事業名	実施内容	担当課
環境フェアの開催	・平成29年9月23日に環境フェアを実施しました(出展・協力団体69団体、来場者約3,000人)。市民活動団体や事業者の環境活動をPRする環境展や、事業者による「おもしろ環境教室」等を行いました。	環境政策課
ポータルサイト「ちがさきエコネット」を活用した事業者への支援	・エコ事業者が事業活動の中で日頃取り組んでいる省エネルギー化に関する事業などを広く市民に紹介することを目的として、取り組みの状況をパネル等にまとめて展示する「省エネ活動展」をイオン茅ヶ崎中央店で平成30年3月4日から3月9日までの6日間開催しました。事業者によるパネル展示のほか、開催初日は、中央公園で開催されたサザンマルシェの会場にもエコカー等を展示し、スタンプラリーを実施、多くのファミリー層を含む約150名の方に御来場いただきました。	
エコ事業者認定制度の活用	・ちがさきエコネットにおける平成29年度末のエコ事業者認定数は15社となっています。	

■平成29年度予算執行状況

事業名	29年度予算額	29年度決算額	担当課
環境講座等の開催(再掲)	170千円	0千円	環境政策課
ポータルサイト「ちがさきエコネット」運用管理(再掲)	1,175千円	1,037千円	
ちがさき環境フェアの開催(再掲)	1,061千円	1,008千円	
環境美化推進事業	1,161千円	1,158千円	環境保全課
環境美化に関する民間団体補助事業	350千円	349千円	
資源回収推進地域補助金制度	38,000千円	35,206千円	資源循環課
緑化推進団体活動事業費補助金	48千円	48千円	景観みどり課
「茅ヶ崎地区工場等緑化推進協議会」への支援	16千円	16千円	
合計	42,401千円	38,822千円	

■成果・課題と評価

成果	評価
・環境美化や資源循環、緑化等に取り組む個人や事業者、団体に対する補助事業の継続的な実施や、広報紙や市ホームページ等を活用した市民団体の活動の周知等により、環境保全の取り組みを支援することができました。 ・環境フェアや省エネ活動展を通じて、各主体の取り組みを市内外へアピールする機会を提供することができました。	C A: 極めて順調に進んでいる B: おおむね順調に進んでいる C: ある程度進んでいる D: あまり進んでいない E: 積極的な取り組みが必要 -: 取り組みなし(評価不能)
課題 ・市民や市民活動団体、事業者に対する支援の取り組みを継続的に行うとともに、新たな支援の仕組みについても、今後、検討していく必要があります。	

施策の柱5.3 学校における環境教育の充実

目標19

各学校と地域との連携による環境教育を充実させ、地域資源を活用した環境学習の回数を増やしていくとともに、スクールエコアクション(※)の導入による各学校での環境活動を継続的に実践していきます。

【目標担当課:環境政策課】

■目標19の進捗状況

項目	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
地域資源を活用した 環境学習の回数	88回	83回	97回	100回	79回	80回
地域資源を活用した 環境学習の実施校数 (市立小中学校総数:32校)	30校	29校	30校	31校	32校	27校
こどもエコクラブ登録クラブ数	5クラブ	5クラブ	3クラブ	10クラブ	3クラブ	2クラブ

※スクールエコアクションの報告から①地域の自然環境を活用した授業・取り組み、②環境に関する施設見学等の取り組み、③地域の関係団体等の協力のもとに行われた取り組み、④地域の美化に関する取り組みを数えています。

項目	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
スクールエコアクション 導入校	市立全小中学校 (32校)					

重点施策36 地域と連携した環境教育

37 学校における取り組みの支援

■概要

- ・学校における環境教育の支援を目的として、学校と地域を結びつける情報の提供を可能にする仕組みを構築・運用していきます。
- ・市内の環境のモニタリングと子どもたちの意識啓発を複合的に実現する仕組みへの展開を図っていきます。
- ・市内小中学校における環境教育の推進に向け、学校版環境マネジメントシステム(スクールエコアクション)を運用し学校生活での環境活動の充実を図ります。
- ・児童や生徒に現在の環境の状況、市民活動団体の活動内容、事業者や市の取り組み等を紹介し、環境への関心の向上と日常生活への反映を図ります。

■平成29年度の取り組み

①環境教育の充実に向けた情報提供の仕組みの構築・運用

事業名	実施内容	担当課
環境学習支援サイト「ちがさきエコスクール(※)」掲載情報の随時更新	・「環境学習News」の発行や「里山はっけん隊!」、「茅ヶ崎市環境基本計画(2011年版)進捗状況報告書」、「スクールエコアクション発表会」等の実施・発表に併せて内容の更新を行いました(平成29年度更新回数10回)。 ・ダウンロードコーナーに、萩園中学校の「緑のカーテンづくりの手引き」を追加しました。	環境政策課
学校関係者への支援サイト周知	・市立小中学校の総合学習の担当者宛に教員向け環境情報を載せた「環境学習News」を送付し、環境学習支援サイト「ちがさきエコスクール」の掲載内容等を周知しました。	

②学校の環境教育に対する支援等

事業名	実施内容	担当課
出前授業の実施	・平成29年4月27日に円蔵中学校にて「千ノ川の水質」について出前授業を行いました。講義やバックテストの練習を行った後、実際の千ノ川の水を使って水質を調査しました。 ・17の自治会及び11の小中学校で、合計約1,800名に対して、ごみの分別に関する出前講座を実施しました。 ・3校の小中学校で、合計約550名に対して、自然環境に関する出前講座を実施しました。	環境保全課 資源循環課 社会教育課
「パッカー君のごみ探検」の配付(重点施策22、23、24の再掲)	・環境学習向けに作成した副読本を、新小学4年生約2,250人に配布しました。	資源循環課
自然観察会等への支援	・7月に茅ヶ崎地区相模川をきれいにする協議会と共催で小中学生及び中学校教諭が参加し、駒寄川の生物相調査を実施しました。	環境保全課
学校教員への支援	・市職員による環境に関する出前授業のメニューを取りまとめ、「環境学習News」を通じて周知しました。 ・スクールエコアクションとして報告された優れた事例についての取材を行い、「環境学習News」及び環境学習支援サイト「ちがさきエコスクール」に掲載し、共有を図りました。	環境政策課

③スクールエコアクションの導入・運用と学校生活での環境活動の実践

事業名	実施内容	担当課
スクールエコアクションに基づく取り組みの促進	・スクールエコアクションとして報告された優れた事例についての取材を行い、「環境学習News」及び環境学習支援サイト「ちがさきエコスクール」に掲載し、共有を図りました。 ・各校のスクールエコアクションの環境活動実施報告書を市ホームページに掲載することで、相互の取り組みを参照にできるようにしました。	環境政策課 学校教育指導課
スクールエコアクション発表会の実施と、学校訪問等を通じた発表内容の充実に向けた支援	・環境フェアにおいて、松林中学校、西浜中学校の生徒による発表会を行いました。 ・発表会の実施にあたり、松林中学校、西浜中学校を訪問し、発表内容に関する助言を行いました。 ・松林中学校は里山公園の自然観察会について、西浜中学校は、近隣の海岸や三浦半島の磯の観察会について発表するなど、海と山、それぞれ異なる地域の発表を通し、それぞれの自然環境の特性について学ぶ機会となりました。 ・「生き物の逞しさを感じるとともに、扱いの難しさを感じた」や「自然を守るためにまずはごみ分別など小さなことから取り組みたい」などの感想が出されました。 ・環境フェアにおいて、発表校以外の授業等で作成した環境に関する掲示物を会場に掲示し、多くの来場者に御覧いただきました。	

④児童や生徒の環境への関心の向上に向けた情報提供

事業名	実施内容	担当課
教員向けの環境学習情報誌の発行	・教員向けの環境情報を載せた「環境学習News」を平成29年7月、11月に発行しました。中学校での出前授業の報告、環境フェアに出展した小中学生の取り組みの紹介、緑のカーテンの成功事例の取材記事等を掲載しました。	環境政策課

■平成29年度予算執行状況

事業名	29年度予算額	29年度決算額	担当課
スクールエコアクション発表会	30千円	30千円	環境政策課
環境学習事業(出前授業等)(再掲)	420千円	145千円	資源循環課
合計	450千円	175千円	

■成果・課題と評価

成果	評価
・環境学習支援サイト「ちがさきエコスクール」の運営や「環境学習News」の発行を通じ、地域の環境を学ぶ環境学習メニューについて、学校へ情報提供することができました。 ・スクールエコアクション(学校版環境マネジメントシステム)の導入により、市内の全小中学校において継続的な環境活動の実践が図られています。スクールエコアクション発表会等、取組の成果をPRする場を環境フェアに設けることで、多くの小中学生に環境フェアへの参加を促し、環境への関心の向上を図ることができました。	B A:極めて順調に進んでいる B:おおむね順調に進んでいる C:ある程度進んでいる D:あまり進んでいない E:積極的な取り組みが必要 -:取り組みなし(評価不能)
課題 ・事業者や市民団体活動との連携による環境活動プログラムの提供については、実現には至っておらず課題となっています。 ・自然環境のモニタリング調査への子どもたちの参加については、今後の自然環境評価調査の実施にあたって検討する必要があります。 ・スクールエコアクションについては、各学校において定着が図られているところですが、学校における業務負担が懸念され課題となっています。	